

第8回大阪マラソン「みんなでかける虹」エピソード集

大阪マラソンには、様々な思いを持ったランナーがエントリーしています。
その中から、魅力的なエピソードや心に残るメッセージをご紹介します。

- 東 久美子(あずま くみこ) 43 歳 大阪府在住
種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)
チャリティカラー 紫《美しいまちと暮らしを支える》



大阪マラソンのコースが変わる前に。 地元の街、住之江を走る最後のチャンス！

——大阪マラソンは今回で3回目の参加になります。
もともとマラソンは苦手でしたが、高校の同窓会で再会した友人に誘われ、2014年に初めて参加しました。「歩いてでもいけるだろう」と軽く考えていましたが、いざ走りだすととてもつらく、景色を楽しむ余裕もなかったです。なんとか完走しましたが、達成感と同時に、「もっとやれたのでは」と悔しさが湧きました。

——2019年にはコースが変わることが発表されました。

フィニッシュ地点が大阪城公園になるので、南港・住之江のあたりは通らなくなるのですね。実は2回目に参加したときに、勇気をもらったのがこのエリア。ペース配分も考え、周囲の風景を見る余裕をもって走ることができました。地元・住之江の景色が目の前に広がったとき、「ああ、帰ってきた」という気持ちになりました。コースが変わる前にもう一度走ることができるのが嬉しいです。

——3回目の大阪マラソン。ずばり、目標は？

2回目のタイムは5時間20分でした。今回は4時間台をめざすことにチャレンジしたいです。実は今年の3月に転職し、幅広い業務内容から、より自分の性にあった仕事に特化した仕事をする事になりました。マラソンをする理由には、「常に挑戦し続ける自分でありたい」という想いもあります。前職の職場でもあった住之江を走る最後の機会。大阪の街に背中を押してもらいたいです。

- 渡邊 勤(わたなべ つとむ) 61 歳 埼玉県在住
種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)
チャリティカラー 緑《子どもの未来を支える》



羽生“南”小学校にちなんで、「373回」完走達成をめざす。 夢に挑む姿を子どもたちに見せ続けたい。

——羽生南小学校の校長先生を勤め上げたそうで。
今年の3月に定年退職しました。最後の勤務地が、ゆるキャラ「みなみちゃん」のいる羽生南小学校。もともとマラソン好きで、最大で年間18回参加したことも。100回の完走を迎えたときに、職員の仲間たちが記念パーティーを開催してくれました。そこで誓ったのが、「南(みなみ)」にちなんで373回の完走をめざすことです。

——大阪マラソンには初めての参加になります。

今回走れることが決まり、とても嬉しいです。373回の完走達成に、ぜひとも大阪マラソンは加えたかったです。これまで全国各地の大会に参加し、9月の日本最北端わっかない平和マラソンで、142回目の完走を達成。今後も走る予定があり、11月の大阪マラソンでは147回目の完走に到達します。職員の仲間たち、そしてなにより子どもたちと約束した「Run For 373(みなみ)」を成し遂げたいです。

——そして子どもたちに、夢に挑む勇気を。

もともとは学校経営に活かせるのではないかと考えてはじめてマラソン。走り続けているうちに、周りに勇気を与え、笑顔が増えていくのを感じました。無謀にも思える373回の完走ですが、80歳までには達成したいと頑張っています。こうして目標に向かって走り続ける背中を、子どもたちには見てもらいたい。そして、自分自身が一步踏み出す勇気を持ってもらえたらと思っています。

● 足立 雅弘(あだち まさひろ)さん 59歳 兵庫県在住

種目:マラソン(グループ)

チャリティカラー 黄色《家族を支える》



**がんばる息子に負けないように。
一家の大黒柱として、いつまでも元気に！**

——マラソンをはじめたきっかけは？

もともとは自身の体力づくりのためです。私は桜宮高等学校で事務員をしていますが、ある日、校長先生、教頭先生と並んで写真を撮る機会がありまして…。当時 47 歳でしたが、誰が年長者だか分からない仕上がりで「これはいかん」と一念発起。それから 12 年、欠かさず走り続けています。ウエストも 79cm から 70cm に！

——チャリティカラー黄色《家族を支える》への想いとは。

次男の息子が 6 年前に病気をし、体力が落ちてしまいました。睡眠がうまくとれない状態が今も続き、日中は自宅にすることが多いです。代わりにというわけではありませんが、自分が元気に走り回る姿を見てもらいたい。その背中を見せることで、少しでも元気を分け与えることができればいいなと思っています。妻からは「生きて帰ってきてな」と冗談も言われますが、まだまだそんな心配はいらないぞと(笑)。

——今年の目標はサブ4だそう。

51 歳からはトライアスロンも始めました。先生や生徒と一緒に、私もトレーニングをすることがあります。事務員ですので生徒とそれほど距離は近くありませんが、「なんだか元気よく走るおじさんがいるな」くらいに思ってもらえると嬉しいですね。大阪マラソンは今回で 7 回目。常連として、油断することなく、しっかりと記録を狙って走り抜きたいです。

● 大道 あかね(おおみち あかね)さん 22歳 大阪府在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)

チャリティカラー 緑《子どもの未来を支える》



**今年の春から、夢だった小学校の先生に。
子どもたちに諦めないことの大切さを伝えたい。**

——ランナーとしては初参加だそう。

3 年前に一度、沿道のボランティアとして参加しました。そのときは「楽しそう」くらいの軽い気持ちでしたが、走るランナーを間近で見て「自分も走りたい」と思うように。学生時代はバスケットボール部で運動好きでしたが、マラソンだけは苦手…。その「苦手」を克服したいと思ったのが、参加のきっかけです。

——なぜ「克服したい」と思うように？

昔からの夢を叶え、今年の春に小学校の先生になりました。子どもたちの中には、やる前から「無理、できない」と可能性を捨て、諦めてしまう子が多くいます。例えばそれは逆上がりだったり、苦手な食べ物だったり。そこで、私自身が大阪マラソンを頑張ってゴールすることで、子どもたちに「苦手に立ち向かう勇気」を伝えたいと思いました。体を張って、この想いを伝えたいです。

——今回の目標は「完走」ですね。

家族には「あんたが走れるんかいな」と心配されています(笑)。今年は猛暑でなかなかトレーニングもできていませんが、なんとか完走をめざしたいです。去年は姉がランナーとして参加していました。その翌年に運よく走る権利を獲得できたので、私も負けじと頑張りたいです。はじめてのフルマラソン。怖くもありませんが、同時にワクワク、ドキドキしています。この気持ちを子どもたちに届けたいです！

● 出口 健一(でぐち けんいち) 37歳 大阪府在住

種目:マラソン(グループ)

チャリティカラー 水色《自然環境を支える》



**新しいことにチャレンジするスピリッツが大事。
会社の仲間たちにも、挑戦する勇気を伝えたい。**

——今回、初めてのランナーとしての参加です。

大阪マラソンにはこれまでもゴミの収集運搬でボランティアに参加させていたでいました。しかし、今年は走るぞと。メンバーを集めて参加することを決めました。会社としても、常に新しいことにチャレンジしていきたい。その想いをランに乗せて、完走をめざし全員で頑張りたいです。

——なぜ、ランの決意を？

私の勤める会社は、約60年続くりサイクル工場。厳しい環境で働く現場と、時代に合わせた経営をめざす経営陣とで溝が生まれはじめています。その距離はまさに、42.195km(笑)。一丸となって走ることで、この距離を縮めたいと思いました。私自身はどんどん新しいことに取り組みたい経営の立場。ともに走るグループの中には、農業という会社の新しい事業を担ってくれている女性も一人います。こうしたチャレンジスピリッツを、この身をもって示したいと考えた次第です。

——ご家族も応援してくれているそうですね。

10歳になる長女、6歳の長男、3歳の次女がいます。妻からは「お葬式の準備をしとくわ」なんて軽口を叩かれています。やはり応援してくれていますね。家族のためにも、完走したいです。

● 牧 美輝(まき みき)さん 46歳 大阪府在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)

チャリティカラー オレンジ《子育てと若者を支える》



**職場は保育所。心も体もイキイキと！
元気の秘訣はランニング。**

——保育士の現場はお忙しいようで。

私は保育士をしているランナー。働く現場は時間も人も常に足りない状態です。お預かりしている子どもたちは、それぞれ一人ひとりの大切な命。体格も性格も違っているので、マニュアル仕事では乗り越えられない多様性があります。この現場を乗り越えるためにも、気力と体力は必須です！

——大阪マラソンはランナーとして初参加ですね。

学生時代に陸上をしていて、社会人になってからもトライアスロンや東京国際女子マラソンに参加していました。子どもを3人産み、一番下の子が現在9歳。しばらくマラソンから遠ざかっていましたが、そろそろ子育てもひと段落。子どもが目覚める前の早朝にトレーニングをしています。2015年に沿道スタッフとしてボランティアに参加しましたが、今回は走れることにワクワクしています。

——マラソンのどんなところが好きですか？

走った後の爽快は最高です。私にとってみれば、練習の成果を出す「発表会」みたいなもの。昔はタイムが目標でしたが、今は家族に感謝しながら、完走をめざすことが一番。よくコブクロさんの「42.195km」を聞きながら走っています。苦しい所でも、この歌を聞くと足が前に出ていくのです。保育所の子どもたちにも「マキ先生、お庭でマラソンしよー！」と言ってもらえるように、この楽しさを伝えていきたいです。

- 栗原 健一(くりはら けんいち)さん 36歳 広島県在住
種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)
チャリティカラー 緑《子どもの未来を支える》



大阪マラソンを通じて知ったアフリカ諸国の現状。ランを通じて、少しでも多くの人に伝える手助けをしたい。

——大阪マラソンへの参加は、2015年が初めて。

ダイエット目的で5年前からマラソンを始めました。2015年に大阪マラソンに参加して、そこでウォーターエイドジャパンの活動を知りました。もともと農学部出身で環境に興味があったこともあり、私もこうした現状を伝えていく一人になればと、今回も参加させていただくことにしました。

——具体的にどのようなことを伝えていきたいですか？

「汚いことはわかっているけど、この水を飲むしかない」。そんな国が今でも存在しています。アフリカ諸国では、汚水により肺炎などの病気にかかり、命を落とす子どもが年間30万人もいるのです。きれいな水を提供することができる設備さえあれば。その設備を整えるためには、一人ひとりの支えが大きくなります。水道設備一つが、二つになるだけで、たくさんの命が救えるのです。

——目標は、何よりもそれを伝えていくこと。

タイムについては、自己ベストの3時間40分をめざして走ります。そうした個人の目標にプラスして、社会全体の目標を意識して走りたいですね。6歳の娘と2歳の息子も、応援してくれています。もちろん、まだまだ世界のことは知らない。それでも、私の背中を見ることで、何かを達成しようと頑張ることの素晴らしさを知ってもらえると嬉しいです。

- 岩崎 貴之(いわさき たかゆき) 45歳 兵庫県在住
種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)
チャリティカラー 赤《生きる希望を支える》



18トリソミー(※)で誕生し、生を全うした息子を想って。同じ境遇の人々にも勇気と希望を与えたい。

(※)18番染色体の重複に基づく先天異常症候群。様々な先天奇形が現れる。出生6000人当たり1例の頻度で発生するが、自然流産となることが多い。

——生きようという強い意志をもって、誕生した小さな命。

息子、幸貴は昨年8月2日に誕生。すぐに呼吸が止まりましたが、医師や看護師による賢明な処置により蘇生。息子から、「生きたい」という強い意志を感じました。そして今年5月26日まで、私たちに希望と勇気を与え続けてくれました。

——奥さんもブログを書き続けているそうですね。

このブログのおかげで、全国各地の18トリソミーの方々、産婦人科や小児科で働いている看護師さんたちから、「幸貴のおかげでいつも勇気や癒しをもらっている」と多くのコメントや励ましをいただいています。彼の生きた証、生まれてきた意味が確かに残されていると強く感じています。

【明日は、明日の風が吹く★18トリソミー、成長記】(<https://ameblo.jp/2910kinutakosu/>)

——大阪マラソンは初参加になります。

幸貴は生まれてから毎日、呼吸をするだけでも苦しかったと思います。それでも皆に笑顔や気づきを与えてくれた彼に対し、その苦しさを少しでも感じる事ができればという思いで、限界に挑戦しようと応募しました。彼が生きた同じ空気を精一杯吸いながら、彼とともに走りたいと思います。そして、いつも家族を支えてくれている妻、彼を応援してくれた多くの方々に感謝しながら。